

ホープ戰士は

負けない2

作:麻理宮ゆう

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止



顔は
なんだよ?

ブレイン

めめ

ちのチカラ
ズル
抜けていくねえ♡

僕が残さず
ぜんぶもらって
ける♡

前回までのあらすじ

平凡な中学生・星置茜は
妖精フロッピーとの
出会いをきっかけに
ヒーロー「ホープフレイム」として
戦う日々を送っていた



戦いに慣れ始めた頃、
敵幹部サタールが茜の学校を襲撃。
全校生徒を人質に取られた茜は、
正体を明かす覚悟で
皆の前で変身し、命懸けで立ち向かう

どうするケロ...?
下手に動いたら
正体がバレてしまう
ケロ!!!

やるしかない!!

やれるもんなら
やってみろ!!!

一時は善戦するも、
力の差に圧倒されてしまう
フレイム

一方でサタールは
フレイムの変身を解除すべく
心を折る作戦へと出る

最初は必死に快楽に
抗うフレイムだったが
度重なる快楽地獄に
何度も絶頂させられてしまう。



生徒たちの応援も
諦めの空気に
変わっていき

心が折れてしまった
フレイムは
敗北してしまう

フロッピーの判断により
茜は保護されるが、
生徒全員の記憶は消去される

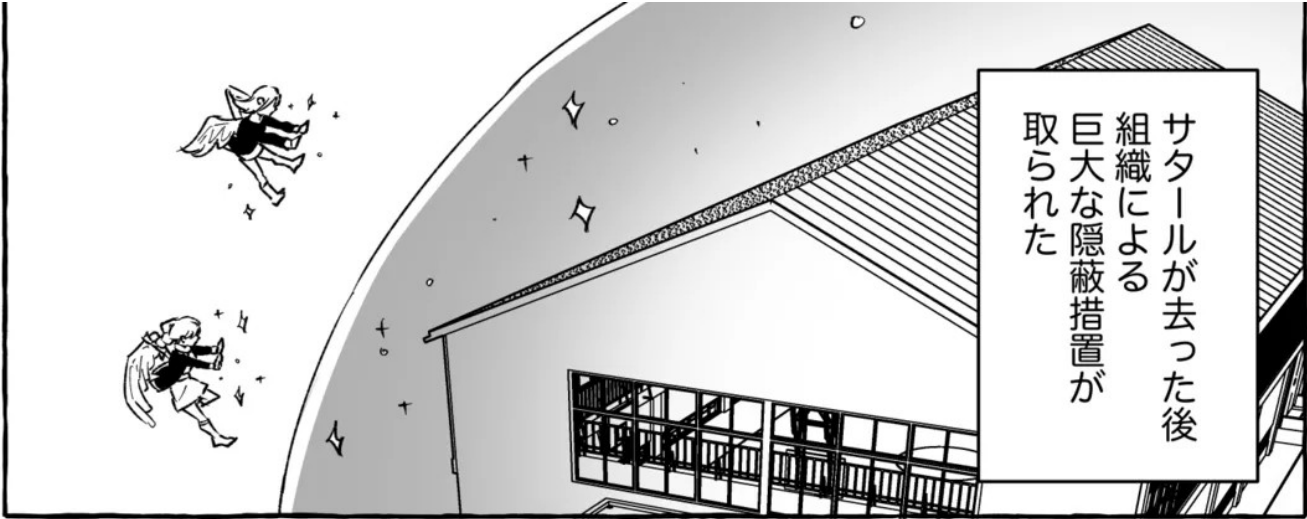
ヒーローが負ければ、
町も人もすべて失う
という現実と
責任の重さを知り、

以後ヒーローとして
戦うことへの恐怖に囚われ、
心を閉ざしてしまうのだった

途中で諦めた...!!







サタールが去った後
組織による
巨大な隠蔽措置が
取られた



あの場にいた
全員の記憶は
消され



施設の修繕と
記憶の消去



ホープフレイムの
屈辱的な敗北は

なかったことに
された

記憶を消して
ホープフレイムの
正体を隠すのは

学校のみならず
そして俺の生活を
守るためだと
フロツピイは
言っていたけど

ヒーローの敗北した姿は
人々の不安と混乱を招き
そんな気持ちを利用され
るからだと思う

そして
俺はとらうと

フロツピイ：
どうして
いなくなっちゃった
んだよ…

あの日以来
ホープフレイムとして
戦うことが
できなくなっちゃった

巻で話題のヒーロー
ホープ戦士の秘密に迫る！

初めてホープ戦士に
助けられて…

すいなくなつて
しまったんですけど
カッコよかったです！

…

俺は
運が良かった
だけ……

ヒーローが
負けたら
全部失うんだ

俺だけじゃない
友達も、家族も
学校の人たちも

この街ごと
全て

俺のせいで

怖い

そんな覚悟を
背負えるほど
俺は強くない

俺にはもう
戦うことなんて
できない……

フロツピィも
そんな俺に
嫌気が差してどっかに
行っちゃったんだ

もう！
こんなに暗くして！
目悪くするでしょ！

ご飯
できてるわよ！

……ごめん……

あと前髪
伸びてる
じゃないの！

お金渡すから
明日切りに
行きなさいよ！

うん……



1ヶ月も
学校休んで…

…何が
あったのよ
もう…

…年頃だから
私には
言ってくれない
のかな



翌日

久しぶりに
外に出たな

みんな…
どうしてるんだろ…

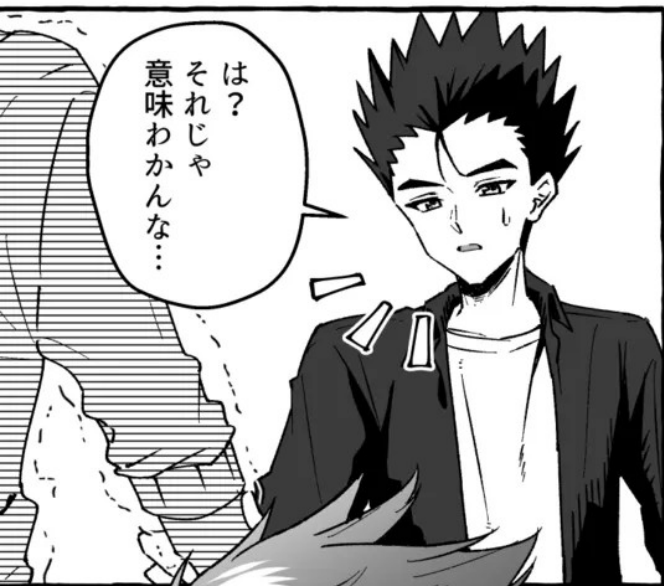
記憶を消したから
俺の正体は
知らないまま
みたいだけど…

でも…

どんな顔で
会えば
いいんだろ…

茜？





なッ!?

茜が学校に
来なくなった
時期と

ホープフレイムの
目撃がなくなった
時期が一致
してるから

ただ何となく
言ってみただけ
なんだけど……

でもその反応
何か関係が
ありそうだな

ギョッ

お前俺に何か
隠し事でも
してるんじゃないか?

やめる

やめて……ッ!
やだ……ッ!!
お願いだから!!

俺はもうヒーローなんて

これがお前らの
希望だった
ホープ戦士の
なれの果てだぜ!!

ホープフレイムと
知り合い
だったたり……

敵にチンポ突っ込まれて
抵抗もできず
ただ一方的に
犯されてるコイツが

ホープ戦士だなんて
笑っちゃまうよなア!?

例えば
お前が

やめてくれ

今のお前が
俺様に勝てる
本気だと思っ
てるのか?

俺は……
まだ……

負けてない……

わか……
わか……

わかった……

よし
いい子だな

こんなの
ヒーロー
失格だ……

じゃあ
まずは……



そんなわけ
ないだろ！



なんだ!?

キャーキャー



あっ
おい待っ…

……俺
もう
行くから



だっ…
だよな…
わりイ
今の
忘れてくれ

……



人間共オ！
さっさとエナジー
をよこしなア！

逃げろオオ
オオオオオ!!



茜!?



また...
あいつらが
攻めて...



おい茜!
逃げるぞ!



おい立て!
逃げるぞ!!



おいって!!




!!




戦わなきゃ...
戦ってみんなを
守らなきゃ...

なのに...

身体が
動いてくれない...



逃な
かげん
？ない
？あ
？



キヒヒツ
それなら
都合がいい



じゃあ
遠慮なくエナジーを
いたただこうかなア！





ヒーローって
負けると
どうなるんだ…？

さあな
俺は負けたことが
ないからな

敵に回収
されたら
戻って来ない

多分
死んでるん
じゃないか？

まあ
いなくなる
ことに
変わりはないさ

どうして…
そんなに平然と
していられるんだ？



別に珍しいこと
じゃない

お前ら一般人共の
平和を守るために
俺たち
ヒーローは裏で戦い

負けたら消える
ただそれだけ
だからな

そんなの
って…

あははははッ

報われも
しないのに
戦うなんて

ヒーローって
ほんと
滑稽だよな





やあ
初めまして

僕は
インプエル

君が壊れる音を
聞きに
来たんだ♡



おい!
その赤髪連れて
さっさと逃げる!
厄介なこと
なりそうだ



君が壊れる瞬間
ちゃんと見届けて
もらわなきゃ!



でも…
逃がさないよ
大事な観客
なんだから



あは
バレちゃった?

君
ヒーロー歴
長そうだもんね



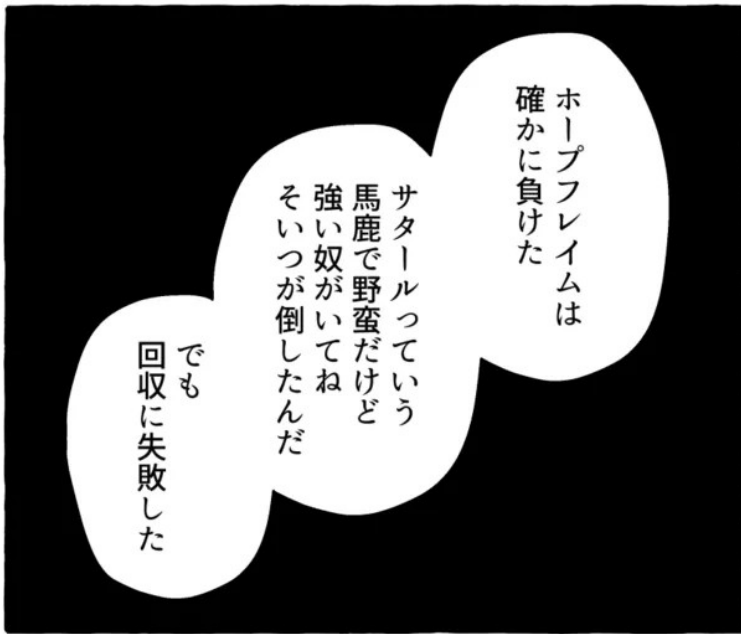
ねえ君
さつき変なこと
言ってたよね

ホープフレイムが
いなくなった
って

いいこと
教えて
あげようか



チツッ：
遅かったか…



ホープフレイムは
確かに負けた

サタールっていう
馬鹿で野蠻だけど
強い奴がいてね
そいつが倒したんだ

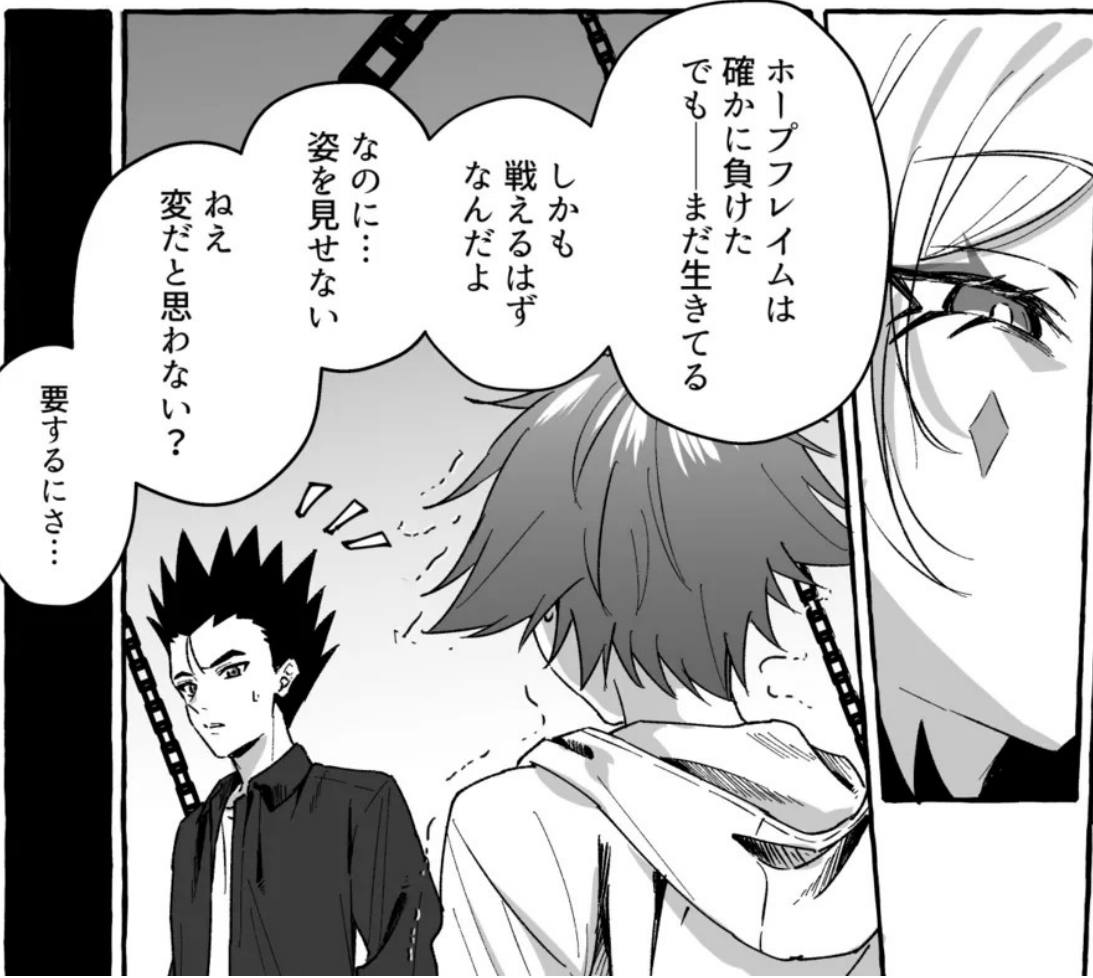
でも
回収に失敗した



ホープフレイムの
末路か？

知らないヒーローの
ことなんか
どうでもいいね

ふふふ…
やっぱり勘違い
しているみたいだね



ホープフレイムは
確かに負けた
でも—まだ生きてる

しかも
戦えるはず
なんだよ

なのに…
姿を見せない

ねえ
変だと思わない？

要するにさ…



は？
何が言いたいんだ

逃げてるんだよ
そいつ！

負けて 怖くなって
ヒーローの看板
引っさげたまま
こそこそ隠れてるだけ！

俺が…
守るべきだった
のに…

逃げる間に
誰かが戦ってた

戦えるのに！
生きてるのに！
出てこないってさ！
ヒーロー失格だよなぁ？

で、君が代わりに
ケツ拭いてるってわけだ！
哀れだねえ！
守っても感謝されないのに！

この街が今
まだ無事なのは…
俺じゃない
ポープスパークが
いたからだ

もし
この人がいなかったら…

それなのに
俺は…ただ安全な場所で
目を背けてただけ
……最低じゃないか

ねえ そんなの
——守る価値
あると思う？

ヒーローの資格なんて
俺には……

確かに
お前の言う通り
かもしれないな
でも…



それで
良かったんじや
ないか



その通りだ
でも情けないなんて
俺は思わないよ



はあ？
正気？

君さあ
逃げたヒーローの
尻拭い
してるんでしょ？



気づい
ちまったんだよ

背負うものの
大きさに

きつとそいつは
負けて戦いが
怖くなったから
逃げたんじゃない

多分：重圧に
耐えられなくなった
だけなんだ

ヒーローは
責任を伴う

負けたら
自分だけじゃない
周りの人も巻き込んで
全部失うんだ

勝っても
何かが得られる
わけじゃない

常に
失うリスクだけを
背負って戦う
ことになる

だから
ヒーローに
負けは許されない

アホらしいよな
ヒーローなんて
本当はやるべき
じゃないんだ

そいつが
全部失う前に
無事にやめられて
よかったよ

へえ：
面白いこと言うね
じゃあ：なんで
まだ続けてるの？

そんな
辞めたいなら

ハイ

僕が
辞めさせて
あげるよ！

二度と
立ち上がれない
ようにね！

引退したくても
お前らが邪魔して
くるんだらうが

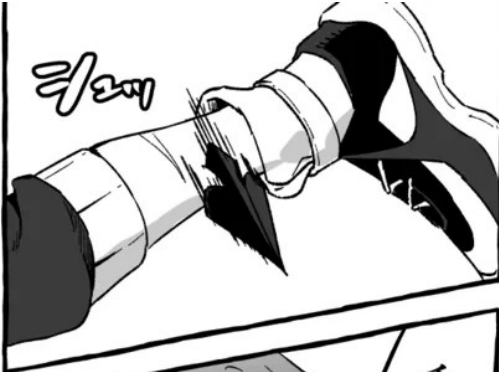
どけ！
邪魔だ！











チッ



へえ

当たらなかったか
意外と
動けるんだね

君相当場数
踏んでる
でしょ？

伊達に
やっつけないんでね
ヒーローのヘルプ



そっか
なら...

もっと壊しがいいが
あるってこと
だよな！





キッ



ふふ……
ちよつと
ふらついたね？
そろそろ
効いてきた
かな？



あの時か……！



カウ
ンタ
ーの
一撃
♡

ならばは
僕に
来るよ
ね
ま、そ
う思っ
てた
ふふ……
待つて
たよ

こんな
程度で
止まっ
て
たまる
かよ！
体力は削
がれてき
た
下僕に
は
攻撃が通
らない……
長期戦は
不利



!!

遠距離から攻撃
するような奴は
近接が苦手って
いうのが相場
じゃないのかよ

ほんと
君たちって
単純だよな

速い……!!

実は僕

こっちの方が
得意なんだよな

へえ
逃げたんだ
え

くッ……!

でも
逃がさないよ♡

アッ

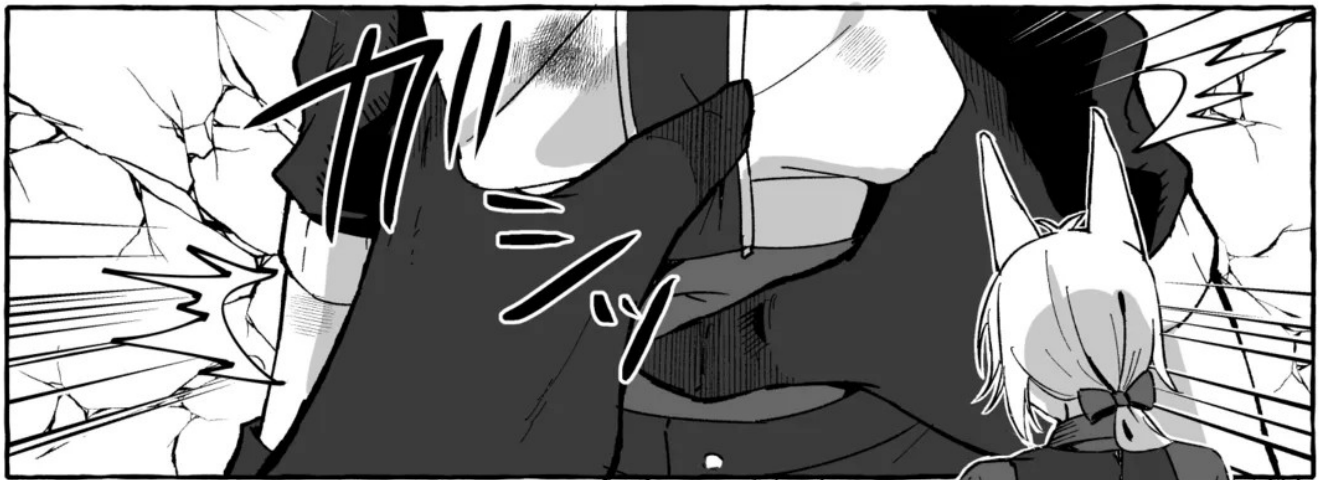
アッ

!!

アッ

アッ







そんな…
ホープ
スパークが…



助けなきゃ…!!



助けないと
いけないのに…!!
なんで…!!



あッ



おおおお!!

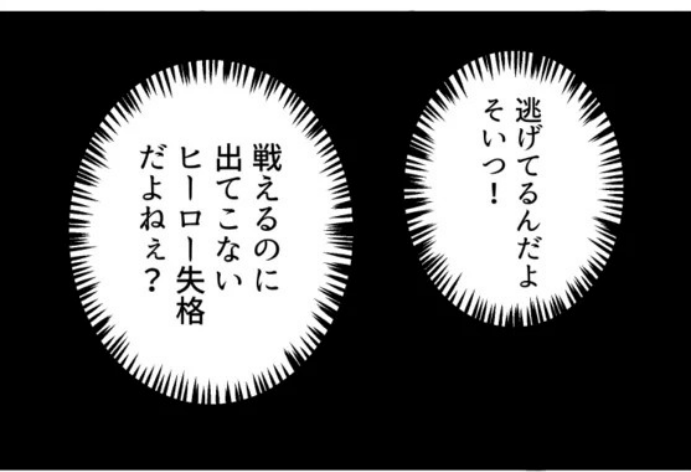
身体が動いて
くれないんだ!



茜!!

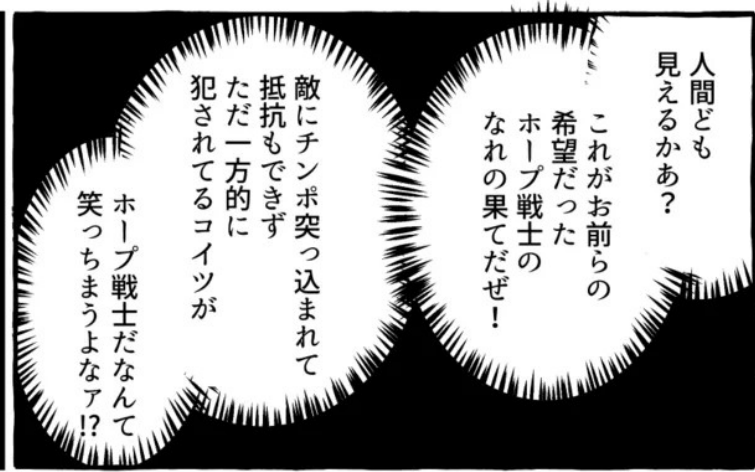


ああ…
ここで終わるんだ…



逃げてるんだよ
そいつ!

戦えるのに
出てこない
ヒーロー失格
だよねえ?

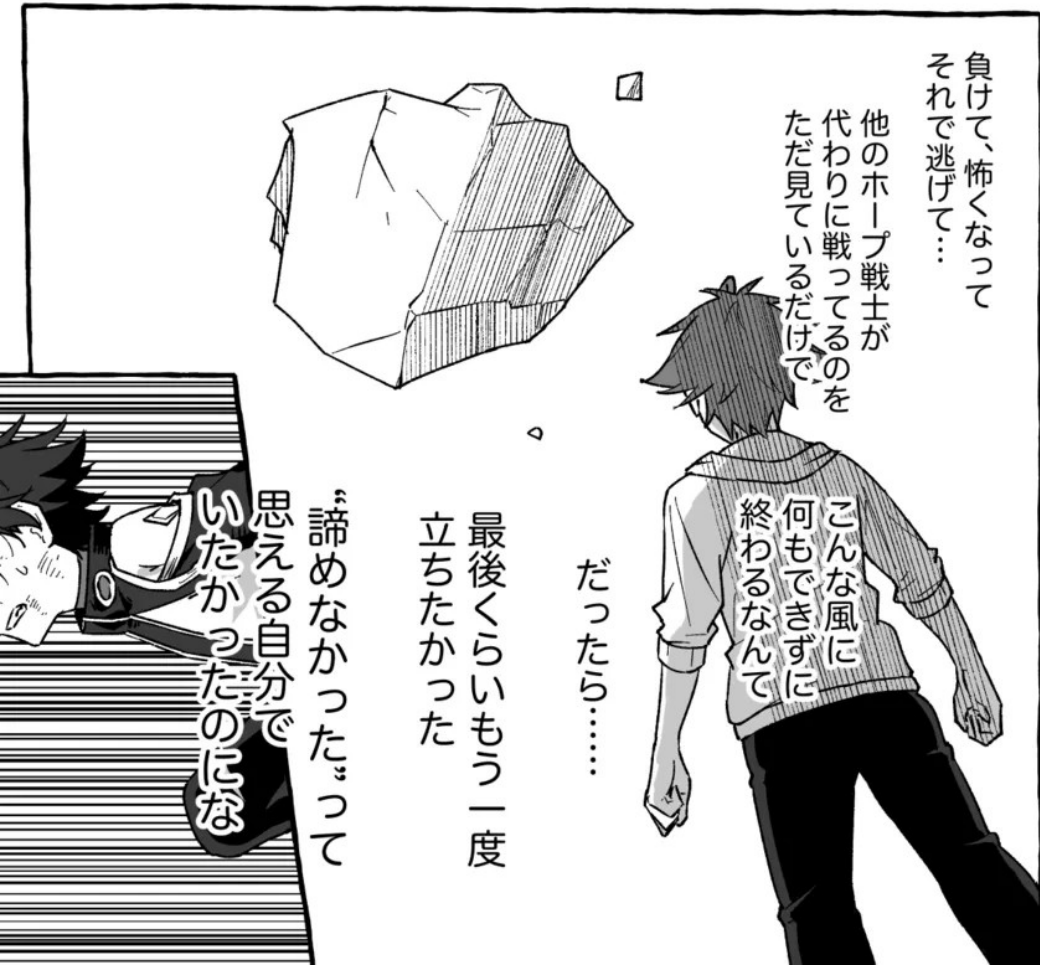


人間ども
見えるかあ?

これがお前らの
希望だった
ホープ戦士の
なれの果てだぜ!

敵にチンポ突っ込まれて
抵抗もできず
ただ一方的に
犯されてるコイツが

ホープ戦士だなんて
笑っちゃまうよなア!?



負けて、怖くなって
それで逃げて…

他のホープ戦士が
代わりに戦ってるのを
ただ見ているだけで

こんな風に
何もできずに
終わるなんて

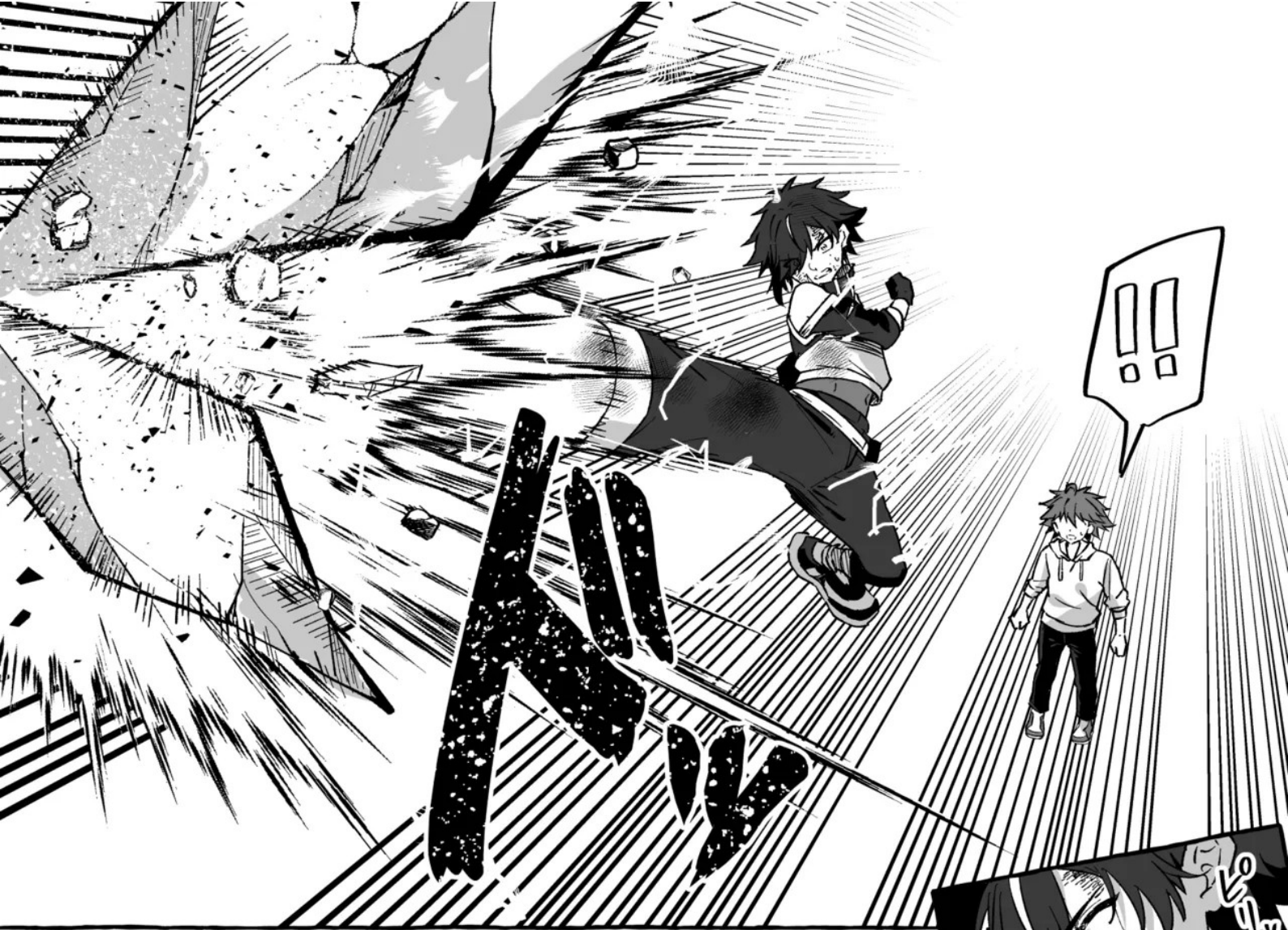
だったら……

最後まで
立ちたかった

諦めなかったって
思える自分で
いたかったのにな



俺
何やってんだろ





本当は
立っているのが
やっとの状態なんだ



ヒーローに
負けは許されないと
よ

背負うものの
大きさに

理解して戦って

多分
死んでるん
じゃないか？

まあ
いなくなる
ことに
変わりはないさ

だから
ヒーローに
負けは許されない
きっと
怖いはずなのに



なんで
君は戦えるの

ムソソソ...

待って！



なんで
なんだろうな？

なに？



うん…

もう少し
離れるぞ!!



茜！
大丈夫か!?



それに比べて
俺は…

ホープスパークは
そんな重圧も
覚悟した上で
戦ってる

ヒーローなんて
なるべきじゃ
ないんだ



何もたまたしてんだよ

ここに人間全員消し炭にされた

俺は……

今のお前が俺達に勝てるど本気で思ってるのか？

怯えてんのか？



おい！

でも……！

何もしないまま後悔するのは

もっと嫌だ！

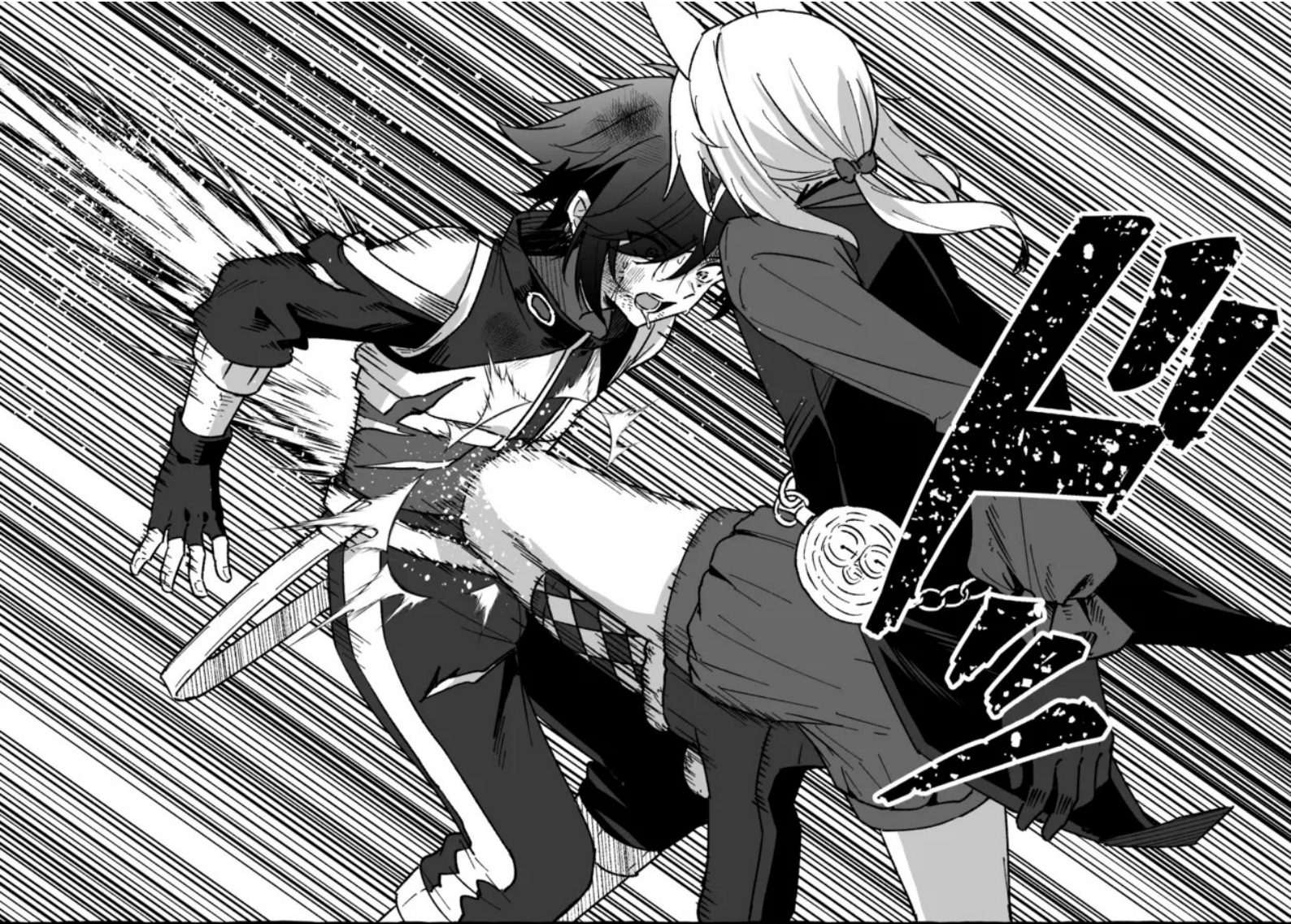


!?



茜？

やっぱり怖い……









馬鹿！
何やってんだ
お前！！

わかんない…
わかんない
けど…俺…

こうしなきゃって…
気づいたら
身体が動いてて…

わかった！
わかったから
もういい！



さっさとどっかに
隠れてろ！

嫌だ…！



もう
これ以上

自分のこと
嫌いになりたく
ない

やっと…
身体が動いて
くれたんだ…

今ここで
動かなかつたら
絶対後悔する…



あははっ
何それ？
ヒーローごっこ？

残念だけど
本物はもう
潰れちゃってるから
君はただのオマケだよ

そんなに
消えたいなら

まとめて
ぐちゃぐちゃに
してあげる♡

本当は怖い

ヒーローに負けは
許されない

そんな責任とか
覚悟とか重圧に
耐えられる自信
なんてない

でも



何もしないで
ずっと後悔
することの方が

もっと怖い!



あの光は
まさか…!

!?

なんだ!?



俺：
ホープレイムに
変身してる!?

茜！
変身できた
ケロね！

フロツピイ!
いつから!?

ケロ!
茜のそばに
ずっといたケロ!
ただ：
見えなくなつて
いたケロよ

詳しい話は
後にするケロ!



いや...
ここで2人
まどめで潰せば...



ホープレイム
だど!?!
まさか
こんなところ...



なあんだ
やっと出てきたんだ?
ずいぶん
引つ張つたね

ポロポロの
味方を置いて
高みの見物
だったくせに...
今さら
ヒーロー面?
ふふっ
ウケるんだけど



そうそう!
ちゃんとわかつてる
じゃん!



その通りだよ...
ずっと逃げて...
迷惑までかけて

俺は...
情けなくて
最低なやつだよ...

だったら最初から
出て来なよ！
バーカ！



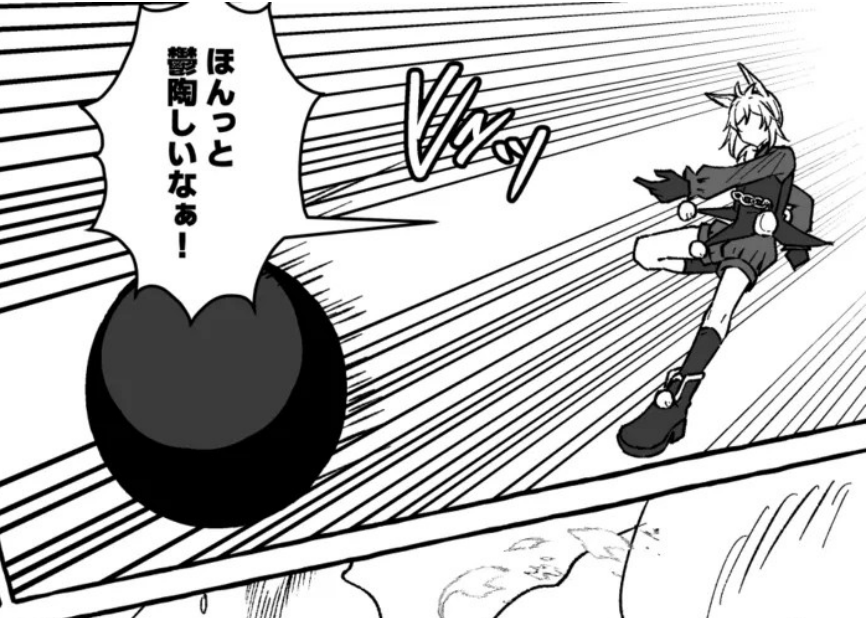
ブレイズンズ
ツヨツツ!!

キーン

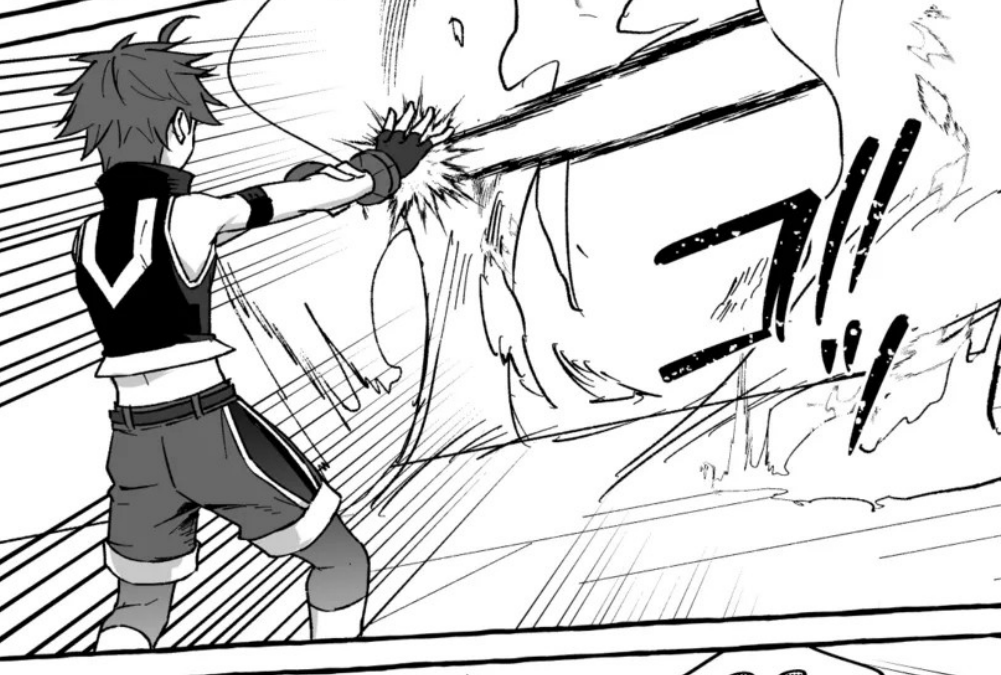
チツ
うるっや……！



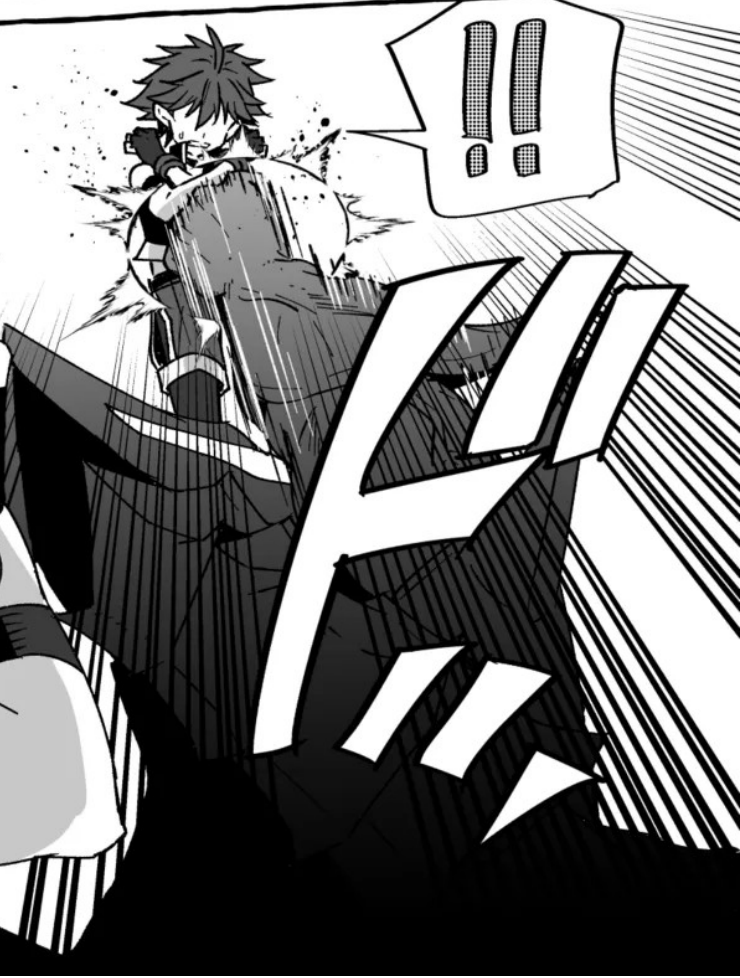
もう
その手には……!



ほんと
鬱陶しいなあ!



なんて
かなんだ……!



ホープフレイドとは
相性が悪いな……
あの作戦に変えよと

ふふっ♡
来た来た♡

ホント
ジョジョおしゃー





な…何を…

君の痛みと
苦しみが
快楽となる
印さ



ホープ戦士が2人も
いると面倒だからさ
君はそこで
じっとしててよ



こんな風にね

なん…だ…
これは…っ!?

エナジーを
抽出するには
これが一番
効率がいいんだ
ホープ戦士は
快楽に弱い
からね

ふざけて…
やがって…



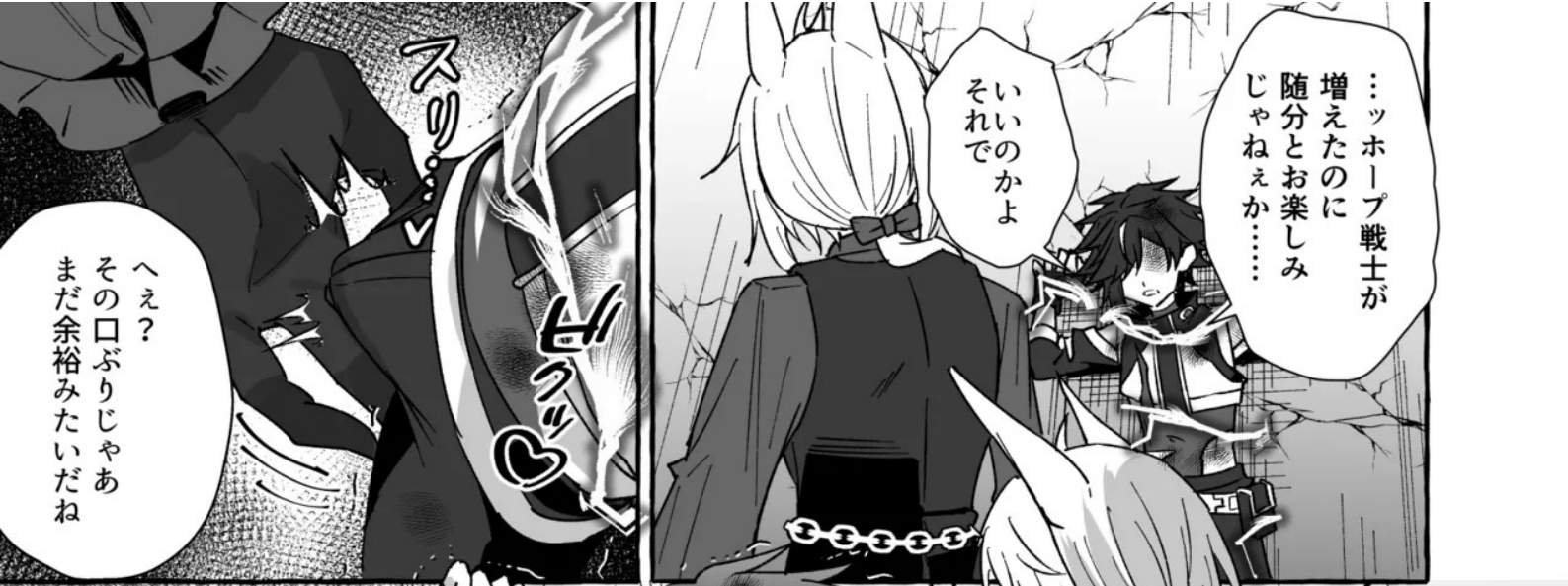
どういふことか
もっとわかりやすく
してあげるよ



ほらッ♡
君の奥まで
全部響かせて
あげる！

これ...
ヤバッ





…ッホープ戦士が
増えたのに
随分とお楽しみ
じゃねえか……

それいかよ

スリ

へえ？
その口ぶりじゃあ
まだ余裕みたいだね



今までののは
前座だよ♡

ここを直接触ったり
蹴られたりしたら
どうなるのかな？

……ッ



…好きにしたら
いいさ

そうやって甚振^{いたが}って
遊んでるから
ホープフレイルムが
目覚めちゃうんだろ

さっさと
こうしておけば
よかったのにな

君の
言う通り
かもね

さっさと
潰しておけば
よかったよ

たしかに
そうすれば

ホープフレ임을
復活させることも
なかった……

こんな風に

…ねッ！

あははっ！
声も出ないほど
気持ち良かった
のおっ？

なら今度は
聞かせてよ♡

君の
絶叫をさあ！





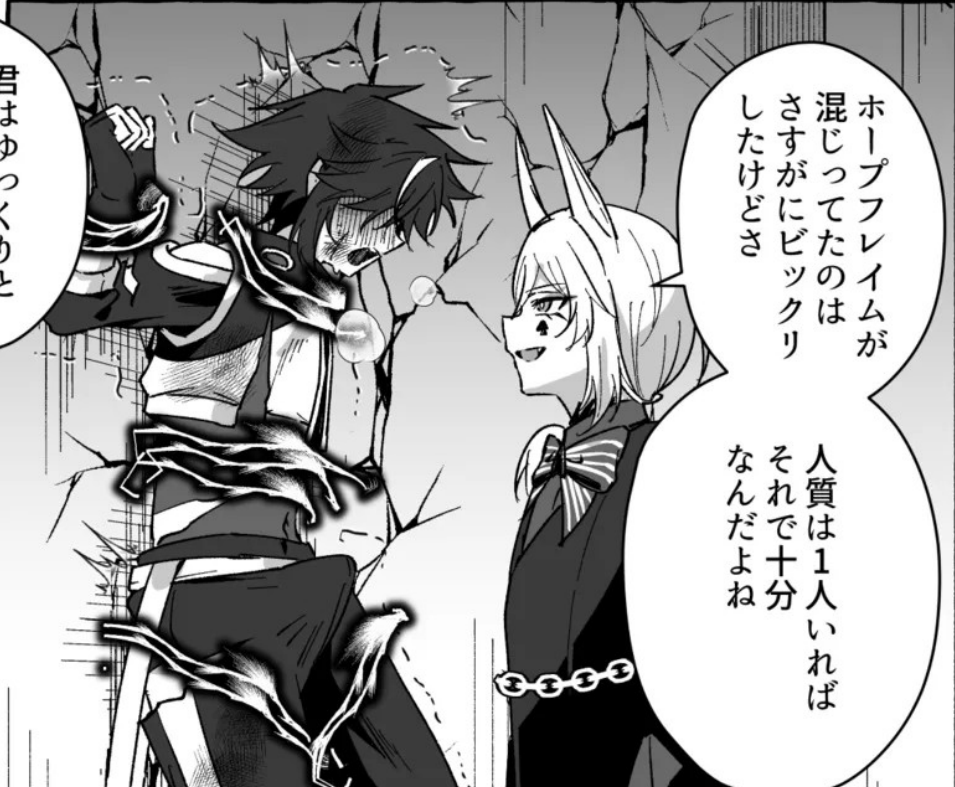
あははっ
今の声最高♡
そんなにか
良かったかな？



君の頑張りが
いかに無駄
だったのかを
見せてあげるよ



君はゆっくりと
エナジーを
吸われながら



ホープフレイルムが
混じってたのは
さすがにビツクリ
したけどさ

人質は1人いれば
それで十分
なんだよね



ただホープフレイルムが
敗北する様を
見ているといいよ



そうそう
言い忘れてたけど

服が溶けてっつ



君が絶頂
すればするほど
エナジーの吸収量は
上がっていく

ホープ戦士にとって
エナジーを吸収
される苦痛は
耐えがたいものだけど…

印の力で
その苦痛すら
快楽となってしまう

さて…
君はどのくらい
耐えられるの
かな？



さっきイカされたせいで
敏感になってやがる……

くそっ…
やめろっ…



待てッ!
おい!



びしょ
びしょ



まさか…
やめ…っ!



ト
ド…



まずいな...
早く...何とか...
しないと...

イッ...
イッ...
イッ...

イッ...
イッ...
イッ...

これで
ホープスパークは
おしまいだ

ホープ战士の
エナジーによって
こいつの能力も
上がるのさ！

そして…

4000





おっと
動いたら
コイツの命は
ないよ



龍二!!

茜：
ごめん…

この
卑怯者！



ん？
卑怯って
言われてもなあ

僕はちゃんと
最初から
準備してたぞ
だけだよ？

人間を1人閉じ込めて
おくだけでこんなに
効くなんて
ほんと便利だよね♡

少しでもヘンな
動きしたら
どうなるか
わかるよね？

なんとか隙を
作らないと……!!

…ッ！



さあ
観客も
揃ったし



最高の絶望劇の
開演だ♡





ねえ 見える？
お友達くん♡

ヒーローって
ほんと損な役
だねえ

無抵抗で
殴られ続けるよ？
しかも君のために！

健気だよねえ

そんなに
ポロポロに
なつてまで
戦つてさあ

♡♡♡
♡♡♡



何になるの？
意味ないのに！

ああああ
ああああ

あははっ
ほんつとバツカ
みたい♡



…ツ…
こんなの…
どうってことない…

こんなところで
倒れてたまるか…！

♡♡♡
♡♡♡
♡♡♡



こういうのを
絶望でぐちゃぐちゃに
するのが最高
なんだから…♡



ふふっ
その目…

やっぱり
そうでなくちゃ

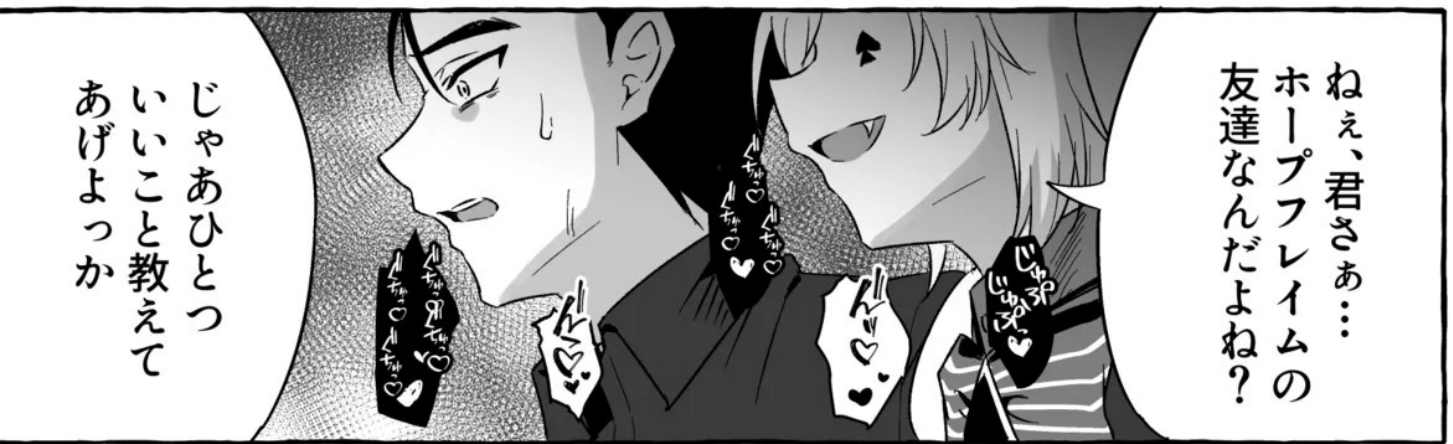


それなら…

お友達くんにも
ちゃんと見届けて
もらわなきゃ…



「ヒーローが
壊れていく
瞬間を…ね♡



ねえ、君さあ…
ホープフレイムの
友達なんだよね？

じゃあひとつ
いいこと教えて
あげよっか



ホープ戦士が
回収されたら
どうなるか
知らないでしょ？

もうヒーローには
戻れないんだよ

その
代わり……

産む
ようになるんだ



つまり...

ヒーローが
光だとしたら
もうあの子は

闇を
育てるだけの
「苗床」に
なるんだ



僕の下僕：
アイツはもう
何人もの戦士を
孕ませてきたんだ

みんな最初はね
苦しそうに
拒んでるんだけど……

だんだん身体がね…
…気持ちよく
なってきたちゃうの

嫌だ…っ
離せ…っ！

やめろっ…！

♡♡♡♡♡



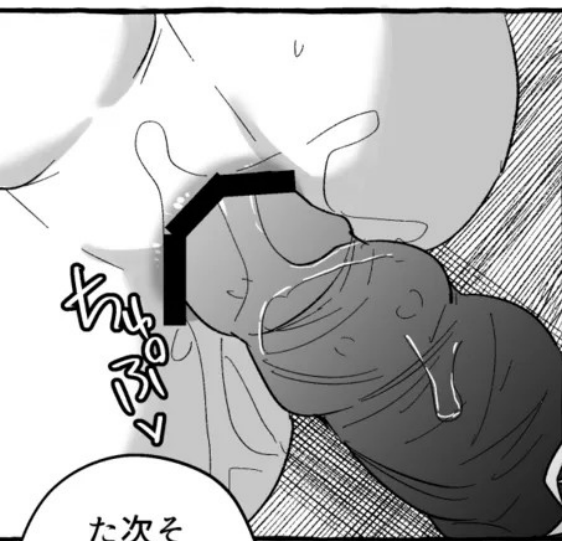


僕ね
何人も見て
きたんだよ



熱くて、震えて、
どうしようも
なくて……

「もう一回」って
自分から
求めるように
なるんだ



ちゅぽぽぽ



正義のヒーローが
気づけば嬉しそうに
産む側にな
ってるんだ



そのうちね
次が待ち遠しくて
たまらなくなる

やめろ！
やめろって！！





あの快感を
身体が覚えちゃう
からさ

ね？
無様で
滑稽で……

最高に
ゾクゾク
するでしょ？



ヒーローがヒーローで
いらなくなる
最高の瞬間……

こんなの
見られる機会
滅多にないん
だからさ♡

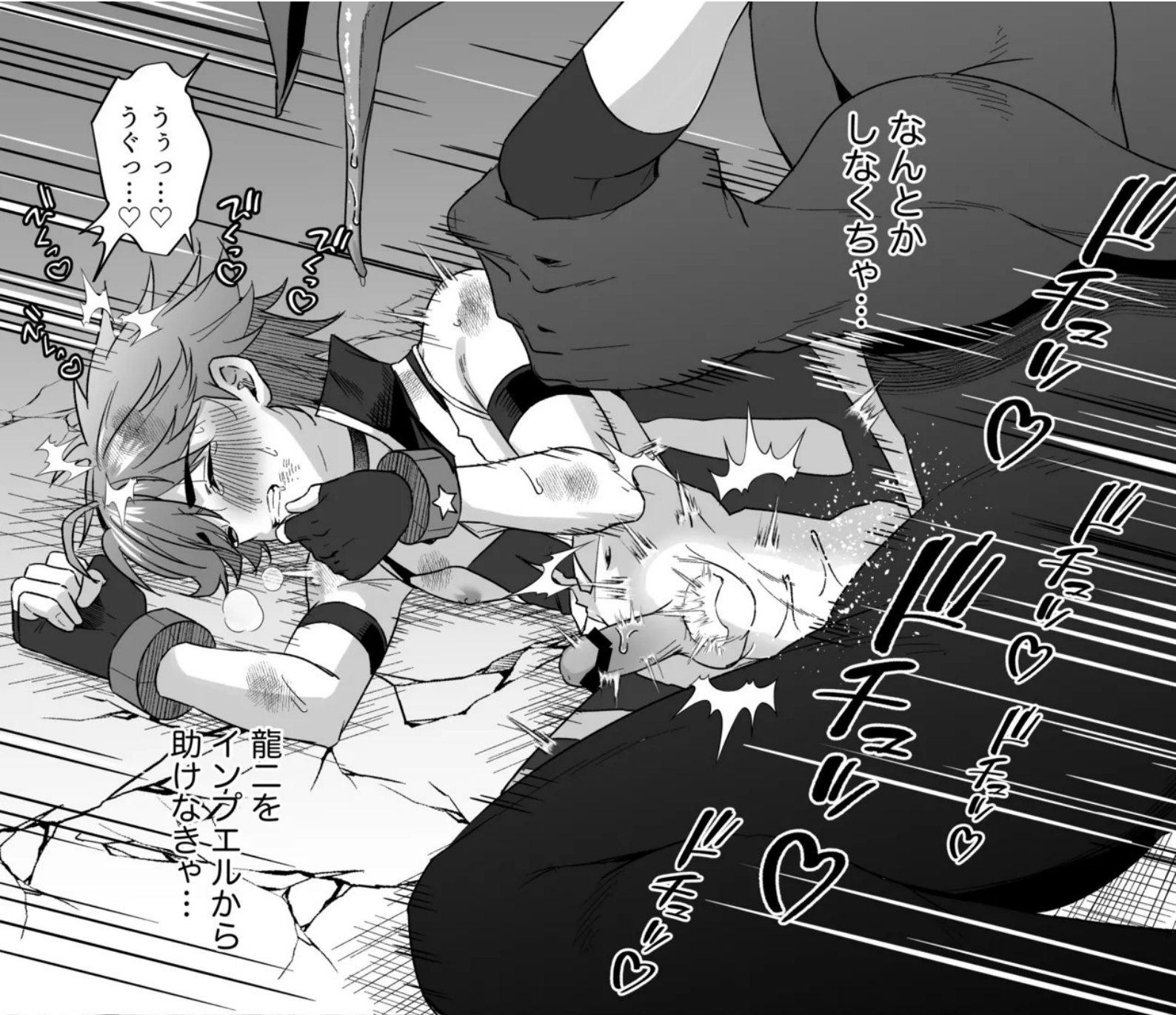


目を逸らしちゃ
ダメだよ

ワクワク
するよね？

ホープフレ임も
すぐそうなるよ

君の目の前で
ヒーローが
ママになるの



なんとか
しなくちゃ...

ううっ...
うぐっ...
♡♡♡

龍二を
インパエルから
助けなきゃ...



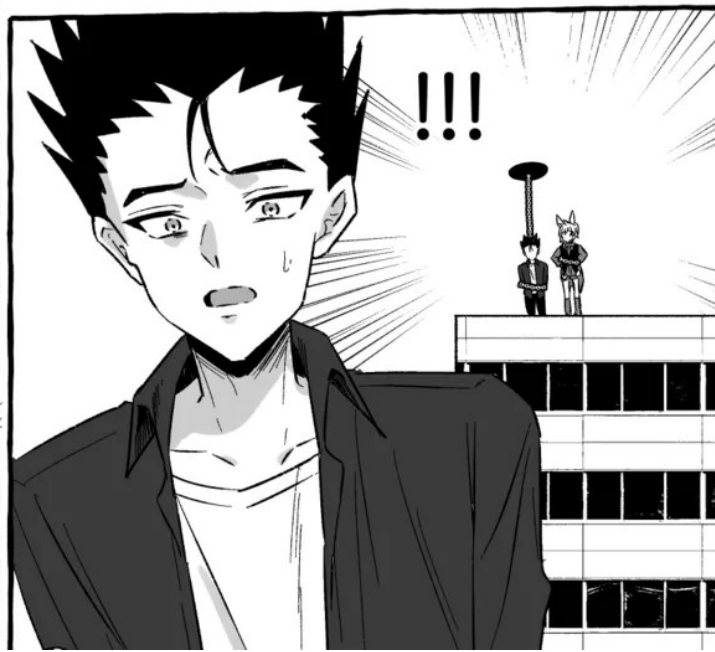
そっだ...
今...俺...
龍二に見られて...



龍二...



敵に
犯されてる
ところを
また...



!!!



ふふっ……
その顔
最高だね♡

ねえ
目の前で友達が
犯されてるのって
どんな気分？

そうやって
昂っていった…

君が見てる
その目の前で
産む身体に
なってくんだ

君が見てるせいで
ホープフレイムは
もっと恥ずかしく
なってるんだよ

最高のショー
でしょ？



嫌だ…
龍一に見られながら…
俺……ッ

ドモッ♡
ドモッ♡
ドモッ♡
ドモッ♡

なのに……っ♡
身体が……熱い……っ

身体の奥が
ずっ……ぎゅっ……
な……っ♡

だめ……っ
だめだ……ッ
これ……は……♡

ゲキッ♡
ゲキッ♡
ゲキッ♡
ゲキッ♡

ズッ♡
ズッ♡
ズッ♡
ズッ♡

このままじゃ…
俺……っ♡





ちよつとでも
気を抜いたら
持ってかれちまう...

ニギギギギギ...

びしょびしょ

びしょびしょ

びしょびしょ

しゅっしゅっ
しゅっしゅっ
しゅっしゅっ

びしょびしょ
びしょびしょ

びしょびしょ
びしょびしょ

びしょびしょ
びしょびしょ

びしょびしょ
びしょびしょ

びしょびしょ
びしょびしょ

びしょびしょ
びしょびしょ

びしょびしょ
びしょびしょ



おあああ

ははは

!!

ははは

ダメだ... ツー
敵の思い通りに
なるな...

んんん

やばい...
頭が... ポーっと
して...



少しずつ
壊れて
いく感じ♡

ふふっ♡
いいね…



まだ戦えるって顔が
助けてって顔に
変わる瞬間…

たまたま
だよねえ♡



これ以上
抜かれたら
また…



もう限界…
頭が…
真っ白に…



U

H

G

H

R

H

G

H

G

H

G

H

G



そうそう
キミのエナジーも
いただかないとね



ふふっ…
キミの分も
最後まで搾り取って
あげるよ♡

力が抜けてく……!!

あ……あ……あ……あ……あ……

あははっ
君たちのチカラ
ズルズル
抜けていくねえ♡

僕が残さず
ぜーんぶもらって
あげる♡





やべえ…
これ以上…は…
もう…保たない…



俺…
負けるのか…?

もし…



ヒーローが
負けたら…



そうだ…
思い出せ…

もう二度と
あんなのはごめんだ…



くそッ…
負けてたまるかよ…

俺は…
絶対に折れねえ…

ヒーローに負けは
許されねえんだ…!!



あああ
あああ

なんで変身が
解けないのさ？

おかしいな...
これだけ
吸ってるのに



もう...諦めないって
決めたんだ...
どれだけ
ピンチになっても...

あの時
わかったんだ...
諦めたら全部
終わるって...



は？

...ける...
もんか...

だから俺は
もう諦めない…

絶対に……!!

あははっ
まだそんな
戯言を
言えるんだ？

いいよ
それ
じゃあ…

一気に奥の奥まで
搾り出してあげよう…

あぁあぁあ

茜：
負けないよな…？

もし…
そんなことが起きたら…

頼む…
どうか…
勝ってくれ…
茜…

いや…
考えたくない…

茜は…
絶対に負けない
ケロ…

いい加減
素直に
壊れなよ!!

ねえ
限界なんでしょ!?

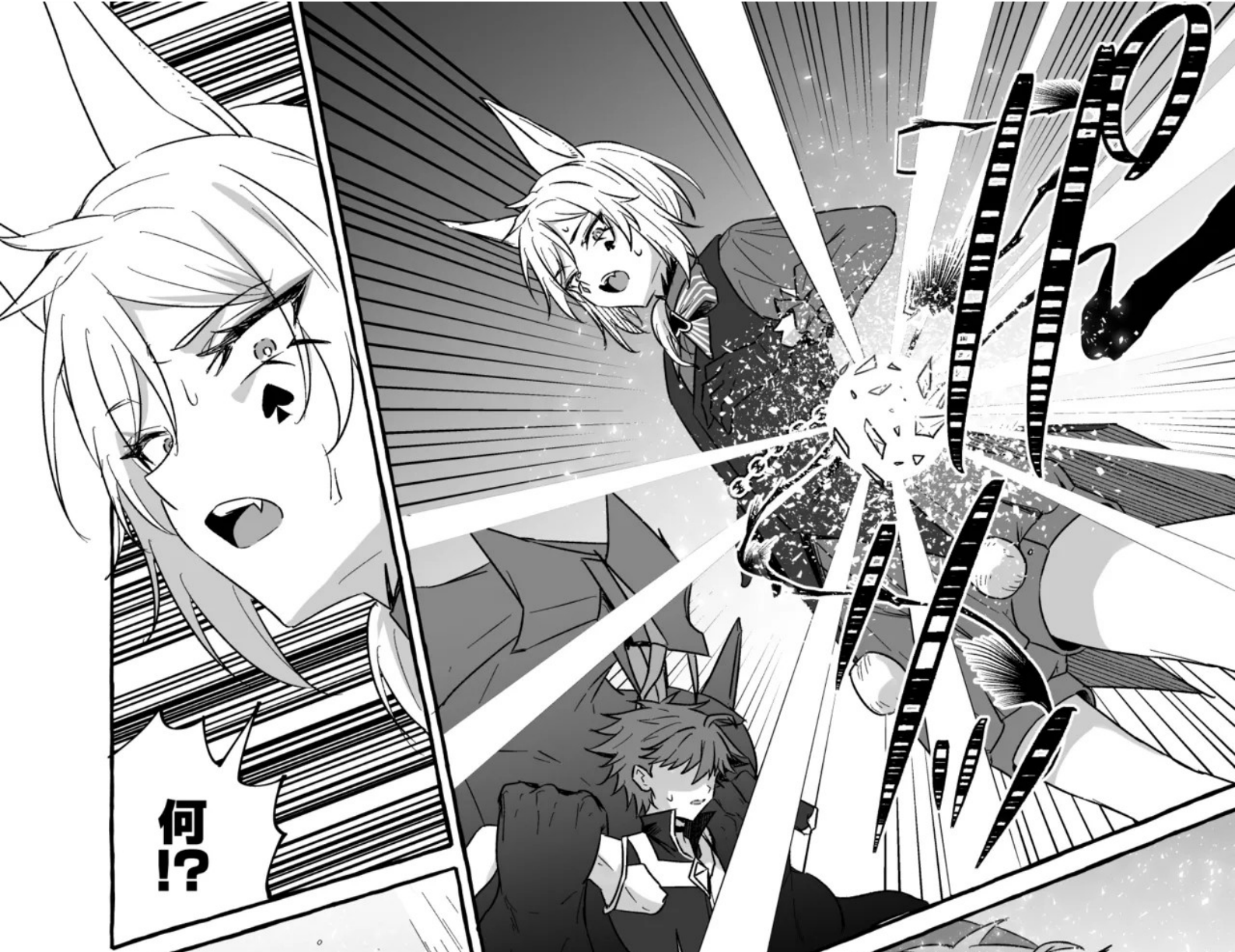
そんなことしても
無駄だって!

負けることの
恐怖を知って

それでも
立ち上がれる
ヒーローは

絶対に
負けない
ケロ…!

ヒキキ



何!?



アアアア



力が戻って...



そんな...バカな...
ありえない...

あいつらの
チカラが

限界を超えて
奇跡をおこした
とでもいうのか!?



力が戻って...

チッ...!!
なごう...
うたら

人質を...!
おっと

フレイム!
今だ!

もうその手は
使わせないぜ

ブレイジング





バースト!!



かわした!?

なっ!?

あつぶな...

クツっ...
仕方ない...
一旦仕切り直して...

まだ終わって
ねえぞ!

!!!

ライジング—...



ギガ
ボルト
!!!

ギガボルト









チツ
頭がガンガン
する…

あんなの
想定外でしょ…

クソ…
あと少し
だったのに…

ほう
想定外とはね

マッ…

マゴトール様…!!

全部
見ていたぞ

ふふ…
実に
見苦しいね

ち…
ちがうんです！
これは…その…！

器は破損
戦士は逃亡
収獲エナジーは
基準に届かず…

これが君の
限界か？

でも…！
でも…！
想定外
だったんです！

まさか
ホープフレイルまで
出てくるなんて…！

想定外を
言い訳にするのは

想像力の欠如を
自由しているのと
同義だよ

インプエル

君は私が設計した器の
副産物にすぎない
無理を強い覚えもない

私はね
最初から君に
期待していた
わけではない

それでも
君が壊れるまで
足掻いたと
いうのなら…

最後まで
付き合おう



やつ...

やだやだ
やだやだっ!!

お願いです
マゴドール様ツ!!

ぼく、
壊れたくない!!

捨てないでえっ!!



なら証明しなさい
この程度では
壊れないと

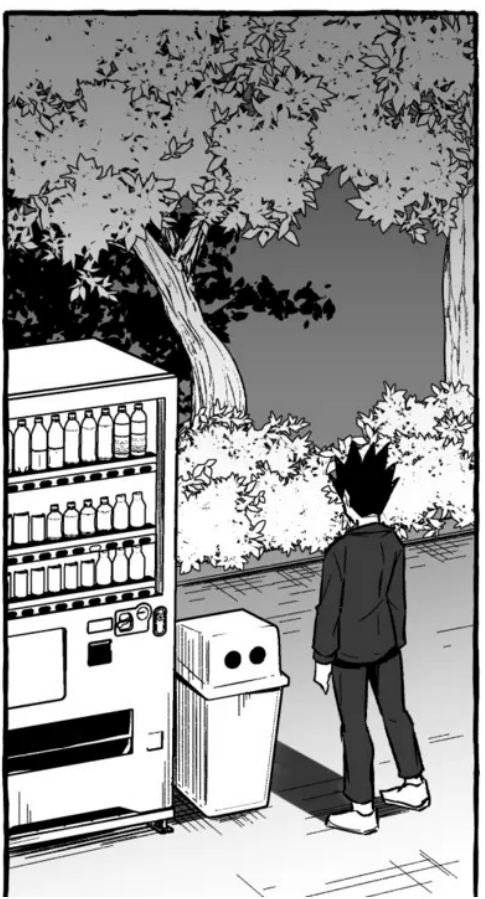
それが
君に残された

唯一の
存在価値だ

へた...







奢るなんて
ただの口実だ



本当は
あいつらの側にいるのが
耐えられなかっただけだ

ヒーローなんて
遠い世界の話だと
思ってた

ねえ
お友

テレビの中の誰かで
俺には関係ない存在だっ
ずっとそう思ってたのに

ヒーローって
ほんと損な役
だよねえ

無抵抗で
殴られ続けるよ？
しかも君のために！

健気だよねえ

それなのに…
どうしてあいつは

もう
これ以上

自分のこと
嫌いになりたく
ない

だから俺は
もう諦めない…

あんなことが
できるんだよ…

絶対に……！！



何も
知らなかったんだ
あいつのこと、全然

1番近くに
いたはずなのに
気づけなかった

どれだけの間
どれだけの重さを
背負っていたのか――

俺は…
あいつの足を
引っ張っただけなのに

あいつの強さが
眩しくてまっすぐで

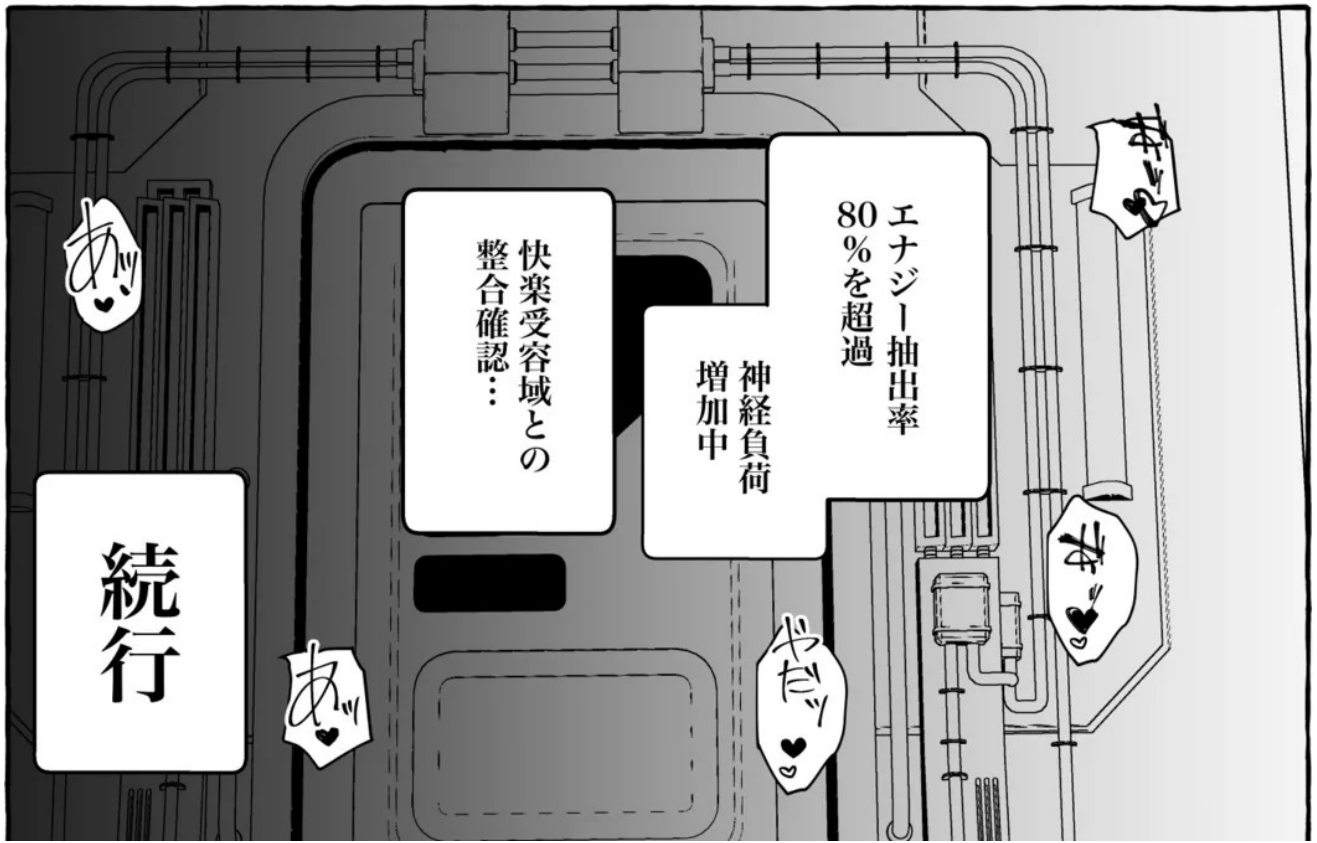
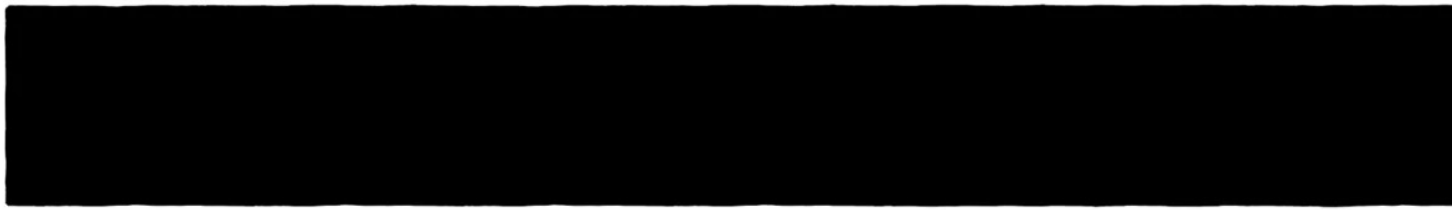
俺とは
違いすぎて

隣にいるはずだったのに
いつの間にか
置いていかれてた





ヒーローじゃないって
楽なはずなのにな…





やだっ♡
やだっ♡

また
イっちゃうっ♡

あゝあゝ
あゝあゝ

ブーン
ブーン

ハッ
ハッ

ハッ
ハッ

ハッ
ハッ

ハッ
ハッ

ハッ
ハッ



快樂受容閾値
臨界まであと1.5...

抽出率83%
神経負荷上昇中

もう
ムリだよおっ♡

ハッ
ハッ

ハッ
ハッ

ハッ
ハッ

ハッ
ハッ



抽出レート
上限を継続…

!!

神経系過活動を確認
制御波形を強化します

やっ…!!
やだっ…ツ!

ぼくもうムリ!
壊れちゃうよおっ!



やだッ!!
無理だからっ!!
お願い止めてッ

抽出を開始

あああ
わああ



マゴツール様あつ！
ぼく
頑張ったよおつ！

吸収レート90%
再度抽出します

やだあ!!
もう
嫌だよおつ

ねえっ
もういい
でしょ？

抽出率増加
神経深部への
接続を確認…

キィィィ



続行

頭が
おかしくなるぅぅ♡♡♡

あゝあゝあゝ

ヒキヒキヒキ

ヒキヒキ

ヒキヒキ

ヒキヒキ

ヒキヒキ

ヒキヒキ

ヒキヒキ



なんで僕が
こんな目に…

抽出レート
限界点突破
最終臨界を確認

全エネルギー
回収完了



そうだ…
あの時

何もしないで
ずっと後悔
することの方が

ホープフレイムが
目覚めたせいで…

今までビビって
隠れてたくせに…

全部…全部…
あいつらのせいで…っ

ブレイ



ねえ 見える？
お友達くん♡

ヒーローって
ほんと損な役
だよねえ

無抵抗で
殴られ続けるよ？
しかも君のために！

健気だよねえ

そっついえば…



…居たよね
フレイムの…
お友達くん…

なあんにも
できなくて
ずっと見てる
だけだった子…



最高に
ソクソク
するでしょ？



ヒーローがヒーローで
いらなくなる
最高の瞬間…

こんなの
見られる機会
滅多にないん
だからさ♡

目を逸らしちゃ
ダメだよ

君の目の前で
ヒーローが
ママになるの



だから…
使えるよね
ああいう
弱い子って

ソクソク
してたんでしょ？

その顔
最高だね♡

ねえ
目の前で友達が
犯されてるのって
どんな気分？

そうやって
昂っていった…

君が見てるせいで
ホープフレイムは
もっと恥ずかしく
なってるんだよ

自覚してなくてもさ
アし…絶対そういう顔
だったもん…♡



逃げるしか
できないくせに
心だけは揺れる



ヒーローを壊すのは
面倒だけど…
あの子を使えば
勝手に崩れてくれるかも



ふふふ…
壊すって何よりも
気持ちいい
ことなんだって

ちゃんと
教えてあげないと…
ね♡



ホープフレイムくん設定



ホープスパークくん設定



インプエルくん初期案→
←ほぼ最終案



←写
底



こんにちは。こーすけぽけ改め麻理宮ゆうです。
前回1巻？を出してからもう2年以上空いてしまいましたね…申し訳ない。
言い訳をするとあまりに描くことが多すぎて時間がかかってしまったんですよね〜。
まあでも描きたかったものは全部描き切ったので良しとしましょう。
さすがに100P越えは予想できませんでしたが…。
とりあえず簡単に裏話的なのを…。

ホープスパークくんについて

彼はまだキャラデザも決まっていな一番最初のプロットでは龍二と茜を助けたあと、さっさと敵に敗北してあっさり戦闘不能になる予定でした。(大阪弁の気さくなあんちゃんを最初は考えていました)
ホープスパークが目の前で敗れてしまい、絶体絶命のピンチに龍二を助けるために茜が再覚醒する…
といったストーリーですね。
でもそうすると茜は結局自分の意志や未練に気づけず、そういう状況になったから変身せざるを得なかった、という自己犠牲強めの変身になってしまうので、それはちょっとかわいそうだな(?)と。
その後ホープスパークのキャラデザを考えたら意外とクール系になってあと結構好きなデザインになったのでスパークを活躍させつつ茜が自分の意志で変身する感じにしようプロットを書き換えました。

インプエルくんについて

敵組織にいる美少年が好きなので絶対に入りたいと考えていたのですが、キャラデザの構想にかなり苦労しました。
モチーフをウサギ(ふしぎの国のアリス)に決めてから連想ゲームみたいに戦闘スタイルとかデザインとかがめっちゃ浮かんでくるようになった感じですね。(ふしぎの国のアリス→トランプみたいな)
絶対に逆らえない上位幹部がいる、という設定もすごく好きなのでそこは自分の性癖に従って作りました。

ホープフレ임(茜)くんについて

前回ボコボコにされて心と尊厳をバキバキに砕かれた茜くんを再び立ち上がらせる話だったので心理描写をきちんと描く必要がありました。
一番最初の草案ではスパークをあっさり敗北させることで無理やり変身せざるを得ない状況を作ろうとしたのですが
そうすると茜は結局納得ができないまま、無理やり戦わされることになるので多分そうなるもまたどこかで心が折れて戦えなくなるだろうな、と。
私は**強い男が敗北しても屈辱と快楽に耐えながら必死に抗うところが好き**なのでやっぱり茜くんには強い心を持ってほしかったんですよね…。

今回かなり長丁場だったので感想もらえると 普段以上にめちゃくちゃ嬉しいです…！

FANBOX



pixiv



misskey(io)



Twitter



感想やアンケートなど



同人誌の感想全て目を通しています！DLsiteのレビューや星の評価もとてもありがたいです。
次回作の参考にしたり、励みになるのでとても助かります。
お忙しい中ありがとうございます！

ホープ戦士は負けない2

発行日 2025年7月5日
サークル ぺこ連盟(麻理宮ゆう)
連絡先 pekorenmei@gmail.com
TWITTER @Marimiya_YU @Marimiya_E
pixiv 827465
misskey(io) Marimiya
くるっぽ @Ko_Suke_poke
印刷所 栄光様

そんなに消えたいなら

まとめてぐちゃぐちゃにしてあげる♡

ホープ戦士は負けない2

跳ね返しの

攻撃

Peko League



へえ... 避けられる
体力は削がれてきた
下僕には...
攻撃が通らない...
長期戦は不利

ならばは
僕に来るよね
ま、そう思ってた
ふふ...
待ってたよ



開演だ♡



龍二を
イングエルから
助けなきゃ...